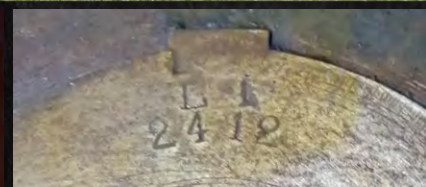


企
画
展

SLを 感じよう!

徳佐駅を出発するSLやまぐち号



B6形蒸気機関車のパーツ

当館所蔵2412号及び
日本工業大学工業技術博物館所蔵2109号



SLの走行動画を大画面で放映



B6の動態復元を記念して

2026年3月、当館所蔵のB6形蒸気機関車2412号が、およそ10年ぶりに帰ってきます。
圧縮空気で動輪が動くようになります。その動輪が回る音の迫力に驚かされることでしょう。
この企画展では、B6形蒸気機関車が帰ってくるのに合わせて、B6について知っていただくと
ともに蒸気機関車(SL)の魅力をたっぷりと感じていただきます。

2026. **2.14** (土) ~ **3.1** (日)

9:30 ~ 17:00 ■ 2/16(月)、2/20(金)、2/24(火)は休館日
入館は16:30まで

入場無料

※科学館の入館に所定の観覧料が必要

会場

名古屋市科学館
理工館地下2階 イベントホール

主催：名古屋市科学館

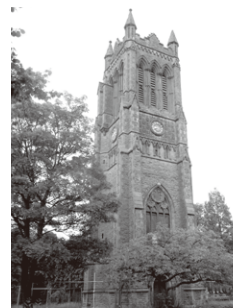


1章 B6とは

B6とは、どのような蒸気機関車でいつ頃その呼び方がつけられたのでしょうか。D51やC62とは決められた年代が異なります。

2章 B6の設計者 R.F.トレヴィシッック

B6の設計者がR.F.トレヴィシッックであるということは、推測として語られていました。この度、その証拠が2024年に太田吉松の手紙により確認されました。蒸気機関車の発明者リチャード・トレヴィシッックの孫である彼の仕事を追います。



R.F.トレヴィシッックが洗礼を受けた教会

3章 B6の製図者 太田吉松

B6の製図を行ったのは、太田吉松です。後に官設鉄道から川崎造船所に移り蒸気機関車製造に関わります。太田が関わった蒸気機関車図面を30枚以上展示します。



図面に残る太田吉松のサイン

4章 官設鉄道 神戸工場

B6の設計が行われ、国産のB6が造られたのは、官設鉄道神戸工場です。近年の研究で建物の配置とその役割が明らかにされてきました。



铸铁柱に残る神戸工場の製造銘板

5章 SLを感じよう！

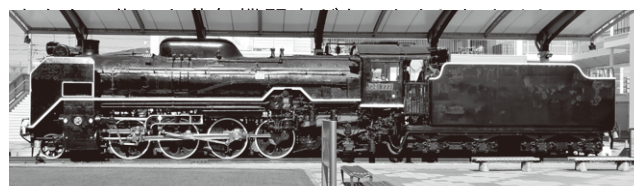
国内11カ所の動態保存されているSLが走る様子を大画面でご覧いただけます。



大井川鐵道の動態保存SL

6章 保存蒸気機関車

愛知、岐阜、三重県に保存されている蒸気機関車を紹介します。



刈谷交通公園に保存されているD51 777



名古屋市科学館
NAGOYA CITY SCIENCE MUSEUM



<https://www.ncsm.city.nagoya.jp/>

〒460-0008

名古屋市中区栄二丁目17番1号(芸術と科学の杜・白川公園内)

TEL052-201-4486 FAX052-203-0788